

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	Plus+days西淀川大野校		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 7人	(回答者数) 5人	
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 4人	(回答者数) 4人	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童が指導訓練室等スペースとの関係が適切である。	活動によって部屋を分けて、児童の特性に合わせて環境構築している。	より各児童に合わせた環境を構築して強みを伸ばすサービスを提供する。
2	活動プログラムが固定化しないように日々工夫している。	活動内容や児童の様子をシートにまとめて、同じような活動にならないよう共有している。	行った活動や様子を引継ぎ・共有をして担当スタッフが変わっても継続した支援を提供する。
3	自治体や子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	適時、関係機関等と児童の様子や支援内容を共有している。	より連携を深め多面的な支援を実施する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の保育所や認定こども園等の交流が少ない	まだ地域の保育園や認定こども園等の関係構築が出来ていない。	今後は利用児童が通っている園と連絡を取り、関係を構築して交流する機会を創出する。
2	移行支援として、地域の小学校や特別支援学校との間で情報共有と相互理解が図れていない。	情報共有や相互理解する機会を作れていない。	今後は、進学する小学校等はこちらからアプローチをかけて、児童の情報や様子をどんどん発信していく。
3			